

自尊と敬虔

和木中学校だより 第2542号

令和6年11月1日(金)

〒740-0061 和木町和木2丁目5番2号

TEL 52-4328 FAX 52-5265

和木中Webページ <http://www.sky.icn-tv.ne.jp/~waki-jhs/>



奇跡の価値は



校長 鬼武伸哉

「歌はいいねえ、歌は心を潤してくれる。文化の極みだよ。そう感じないか、シンヤ君」本県宇部市出身のアニメ監督であり、アニメーター・脚本家・映画監督でもある庵野秀明さんが世に出した『新世紀エヴァンゲリオン』の人気キャラクター、渚カヲルにそう声をかけられたような気分でした。

10月26日(土)に「令和6年度和木中学校文化祭」を開催しました。多くの保護者の皆様にご来校いただき、生徒の活動の様子を見守っていただき、誠にありがとうございました。私の大切な絵本をめぐり、名探偵セナンと怪盗クッドの対決を匂わせる開会式・オープニングに合唱コンクールが続きましたが、自分の耳を疑うほど、各クラスの歌の質の向上には驚きました。前日のリハーサルを聴いていないことも一因ですが、同じ週の火曜日に自由曲の中間発表会で耳にした演奏とは全くの別物でした。もちろん、1、2年生の合唱にも心を動かされましたが、特に大きく心に響いたのは3年生の音のつくり方でした。3年2組の合唱を聴き終えたとき、思わず、3年1組の生徒と担任の顔を思い浮かべました。正直に書けば、とてもその表情をうかがうことができなかつたのです。2組の生徒は課題曲、自由曲ともほぼパーフェクトに歌い上げたと思います。少なくとも私の耳には、ミスは一音も入ってきませんでした。声のボリュームだけでなく、曲想の演出も「素晴らしい！」の一言に尽きるものでした。1組の生徒がこれを上回るのには、奇跡を願うしかないと思っていました。その思いは、1組が課題曲を歌った後も変わりませんでした。彼らがうまく歌い上げたことは事実ですが、その時点では、2組に分があると思っていて疑いませんでした。なぜなら、自由曲の中間発表で1組が歌った「モルダウ」には厄介な克服すべき点があると感じていたからです。事実、発表会の後、職員室で音楽科の担当者に、「課題曲でなく、自由曲の指導に力を入れないと、後を任された担任や生徒には酷だ」という趣旨のメッセージを伝えたことを覚えています。(実は音楽科教員は日々、生徒の練習に付き添い、彼らが課題を乗り越えることができるよう丁寧な指導を繰り返しておりました。)実際には、1組の生徒が、アルトとソプラノのメロディの繋がりや音の強弱、上がり下がり、雄大な「モルダウ」川を称える次々に押し寄せる波のようなパートをリズム感だけでなく、曲想も意識して見事に歌い上げる様を目の当たりにして、私は言葉を失ってしまいました。同時に、クラス間に優劣をつけなければならない審査員でなくて救われたとつくづく思いました。町内の合唱グループで活動しておられる審査員の先生方には心から感謝しています。

学年別のテーマに基づくクラス発表では、アイデアと工夫を凝らした動画に笑ったり、感心したりしました。英語暗唱では、3年生の野田さんと2年生の藤本さんの発音のよさと表現力の高さに憧れを抱きました。自主企画では、4組の生徒がダンスや、ギター演奏に合わせた歌唱を披露しました。軽快なリズムにのったチャリングさが弾ける踊りや神秘さや厳かさを感じさせる踊り、ギターの伴奏にあわせてあいみょんの名曲「マリーゴールド」をじっくりと聴かせる演奏が披露されました。吹奏楽コンサートでは、私の世代でも楽しめる数々のヒット曲や名曲を部員が見事に合奏しました。4名の教員が参加して歌う場面があり、大いに会場を盛り上げました。ただ、私の参加については、吹部の皆さんにご迷惑をおかけしました。昼食時のCM視聴を挟み、午後はクラスごとに展示物を見学しました。学年部、国語・理科・美術・家庭の各教科、そして美術部の様々な作品が12教室に分けて展示されていました。普段の取組が観る者にひしひしと伝わってくる充実した展示物ばかりでした。生徒会企画により、各展示教室に1文字ずつアルファベットが隠されており、それらを繋げて、絵本のありかを見つける活動が用意されていました。私でさえ、すべてのアルファベットを見つけることはできませんでしたが、3年1、2組及び2年2組の皆さんは見事にその謎を解くことができました。英知を働かせ、クラスの団結力を発揮した結果だと思います。

話を合唱コンクールに戻しますと、私が3年1組のゴールデングランプリ受賞を知ったのは、表彰式の直前に、担当教員が結果を発表した時です。失礼な表現を承知で使わせていただくと、2組の演奏直後には私の中で奇跡に近かった1組の結果発表を聞いても、生徒からはほとんど歓声や落胆の声が上がることはありませんでした。心憎いまでに成長した3年生の姿こそが、「奇跡の価値」を高めたと個人的に振り返っています。

10月、生徒は様々な活動に全力で取り組みました

表面で紹介しました文化祭を含めて、10月は年間で最も多くの行事がある月ではないかと思うほど、生徒は忙しい日々を送っています。そのうちのいくつかを写真で振り返りたいと思います。

【 県新人体育大会 ソフトテニス男子個人 】10月13日(日)

秋晴れの空のもと、本校で唯一、県大会への出場を果たしたソフトテニス部2年生男子ペアは練習の成果を生かし、3回戦まで勝ち上がりました。惜しくも3回戦で敗退しましたが、コート決勝に進むことも可能だったと思います。来年度に向けてさらに競技力の向上に努めてほしいと思います。



【 中間テスト 】10月18日(金)、21日(月)

10月には、中間テストだけでなく、英語検定、IBA 英語テスト、1, 2年県学力定着状況確認問題、3年到達度テスト等、様々なテストが実施されました。テストを受けて、学習状況をしっかりと振り返り、学力の向上に努めてほしいと思います。



【 IWAKUNI 絆 EKIDEN 】10月27日(日)

9月中旬から始まった練習の成果を発揮し、大会で走った選手や応援した生徒が心を一つにして臨んだIWAKUNI 絆 EKIDEN。参加した生徒全員が本当にいい表情で走り切った1か月余りの日々でした。



【 図書購入費贈呈式 】10月29日(火)

社会福祉協議会の嶋谷会長より図書購入費を贈呈していただきました。図書委員長の3年生女子が生徒を代表して贈呈式に臨みました。生徒の情操を育み、学習に生かすために活用させていただきます。

